学校番号	T1202

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	（通信）公共	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	『高等学校 公共』これからの社会について考える（数研出版）						
副教材等	自作プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現在の社会を形作っている様々な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、この社会を構成する国際人としての感覚を磨いていきます。
・第１回スクーリング時にファイルを配付します。授業プリント等を整理し、各自復習等に用いましょう。
・授業はプリントで学習し、知識の定着を図ります。授業プリントは実施ごとに回収し、評価の対象とします。毎回しっかりと取り組みましょう。
・単元ごとの「パフォーマンス課題」や、学習の振り返りをするために「振り返りシート」を記入してもらいます。記述内容や課題の取り組み具合はすべて評価の対象とします。しっかり取り組みましょう。
・授業への取り組み状況も評価の対象となります。遅刻や欠課をせず、しっかりと出席しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・現代の諸課題を考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から現代社会に生きる人間として主体的に活動するために必要となる情報を効果的に調べてまとめる技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
・事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構成したことを議論する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについて自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題をとらえ考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現代社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	国家及び社会の形成者として、よりより社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期中間(後期中間)	公共的な空間をつくる私たち	・青年期と通過儀礼 ・古代の哲学及び宗教 ・日本の伝統と思想 ・誰もが生きやすい社会の形成	a:自らの体験等を振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方を理解している。伝統や文化、宗教を背景にして現代の社会が成り立っていることを理解している。自分たちが生きる社会が、様々な背景を持つ多様な人々から成り立っていることを理解している。 b:自己形成の課題、先哲の思想や伝統・文化などが自分自身に与える影響、多様性の受容などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 c:「公共的な空間を作る私たち」について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 レポート	考査 レポート	観察 振り返りシート

前期中間(後期中間)	公共的な空間における人間としての在り方生き方	・西洋近現代の思想 ・地球環境問題と倫理 ・生命倫理 ・情報倫理	a:近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容が理解できている。地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命科学や情報技術の進展などの事象について理解できている。 b:公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手がかりが考察できている。 c:「公共的な空間における人間としての在り方生き方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 レポート	考査 レポート	観察 振り返りシート
	公共的な空間における基本原理	・民主政治と基本的人権 ・権力分立と法の支配 ・個人と社会のかかわり ・日本国憲法と基本原理 ・平等権、自由権 ・社会権、参政権、請求権 ・人権の広がり ・国会、内閣のしくみと役割	a:人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務、日本国憲法の基本原理・権利など、公共的な空間における基本的原理について理解できている。 b:幸福、正義、公正などに着目して、公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会とのかかわりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 c:「公共的な空間における基本原理」について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 レポート	考査 レポート	観察 振り返りシート

前期中間(後期中間)	ルールをつくり守る私たち	・法と契約 ・消費者の権利 ・司法権と裁判制度 ・司法参加の意義	a:法や規範の意義や役割が理解できている。 公正な裁判には司法権の独立が必要であり、国民の参加が大切であることが理解できている。 b:日常の買い物や銀行のクレジットカードなど、身近な契約の例を挙げることができる。裁判員制度がどのような目的で創設されたか考察できている。裁判によって国民のどのような権利が守られているのか考察できている。 c:「公共空間におけるルールづくり」について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 レポート 定期	考査 レポート 授業	観察 振り返りシート

前期期末(後期期末)	政治に参加する私たち	・政治参加と民主政治の課題 ・国際政治の動向 ・国際政治の課題と日本の役割	a:地方自治や選挙の仕組み、政党の役割を考察することによって具体的に民主政治を支える制度を理解できている。国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割が理解できている。冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れが理解できている。国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割が理解できている。現代の世界の紛争や人権問題について理解できている。 b:選挙制度の違いによって、政党制にも大きな違いが出てくることを考察できている。集団的安全保障がなぜ有効なのか考察できている。国際問題について自分なりの意見を持ち、他者に説明できている。 c:「政治参加」について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 レポート	考査 レポート	観察 振り返りシート

前期期末(後期期末)	経済活動を行う私たち	・経済の仕組みと産業の変化 ・市場経済の仕組みと金融 ・財政と社会保障 ・国際経済の動向と課題	a:現代の企業の果たしている役割が理解できている。産業構造の変化と職業選択との関係や、雇用・労働問題について理解できている。市場経済のメカニズムが理解できている。金融の仕組みを理解し、経済状況に応じて適切な手段を提示できている。政府が経済に果たしている役割を理解できている。社会保障について理解できている。貿易や外国為替相場について、その仕組みが理解できている。戦後の国際経済の流れが理解できている。発展途上国の現状を知り、貧困や飢餓などの原因や課題を理解できている。 b:需給曲線を使って、どのような場合に価格が変動するのか考察できている。経済のグローバル化と相互依存関係が深まっていることを理解し、それが日本経済にどのような影響を及ぼしているかを考察できている。 c:「経済と私たちの活動」について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 レポート	考査 レポート	観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度